

令和8年(2026)年度の処遇改善加算要件に係る、職場環境等要件の当法人の取り組みについて下記のとおり公表いたします。

処遇改善加算取得状況 4・5月	加算 I
処遇改善加算取得状況 6月以降	加算 I 〇

区 分	内 容
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどを明確化します。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組を実施していきます。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等を行っています。
	仕事やメンタル面のサポート等をする担当者制度を導入しています。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、グループ内託児施設の整備を行っています。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備があります。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備をしており、有給取得率79%の数値目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、積極的な声掛けを行います。
腰痛を含む心身の健康管理	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実を図ります。
	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施を行います。
生産性向上のための業務改善の取組	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、生産性向上委員会を行っています。
	5S委員会を設置し、5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備を行っています。
	業務手順書の作成や、記録・報告のペーパーレス化等情報共有や作業分担の軽減を行っています。
	介護ソフト、情報端末の導入を行っています。
	見守り機器等の介護ロボットや職員間の連絡調整を迅速化するICT機器を導入しています。
	業務内容の明確化と役割分担を行い、職員がケアに集中できる環境を整備しています。清掃、ベッドメイク等は外部委託しています。
やりがい・働きがいの醸成	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の生徒や住民との交流を実施しています。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有しています。